

# 授業科目 スポーツツーリズム論

【担当教員名】 武田 丈太郎		対象学年	4	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 観光業とスポーツの関わり、スポーツツーリズムの概念等を理解し、スポーツイベントや合宿の誘致等の具体的な事例を分析し、課題や問題点を明らかにする力を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 講義の目的、内容、評価について理解する。 2. 観光業の現状、スポーツツーリズムの概念について理解する。 3. スポーツに関する課題や問題点を観光の視点から捉える。 4. スポーツツーリズムのケーススタディを分析、評価する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	講義の目的、内容（スポーツツーリズムの概説）、評価方法			1	
2	国内産業における観光業の現状と課題			2	
3	観光業とスポーツの関わり、ツーリズムの歴史的発展			2	
4	スポーツツーリズムの概念とスポーツコミッションの役割			2	
5	スポーツツーリズムのインパクト			2	
6	日本のスポーツツーリズムの現状			2,3	
7	海外のスポーツツーリズムの現状			2,3	
8	スポーツツーリズムとプロスポーツ			2,3	
9	スポーツ参加型ツーリズムの事例1（スポーツ合宿）			3	
10	スポーツ参加型ツーリズムの事例2（ローカルスポーツイベント）			3	
11	スポーツ観戦型ツーリズムの事例（メガスポーツイベント）			3	
12	ケーススタディの分析1（メガイベント）			3,4	
13	ケーススタディの分析2（ローカルイベント）			3,4	
14	ケーススタディの分析3（スポーツ合宿）			3,4	
15	まとめ			2,3,4	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		スポーツ・ヘルスツーリズム	原田宗彦、木村和彦	大修館書店	2009・2,000円+税
その他の資料					
【評価方法】 評価方法は、レポート、毎回の小レポート及び授業への貢献度である。評価基準等は、レポート(50%)、毎回の小レポート(40%)及び授業への貢献度(10%)による総合評価とする。			【履修上の留意点】		